

「入院診療計画書」

氏名

様 病名 :

症状 :

治療法 : 良性開腹術 (子宮・付属器手術)

西・東病棟

階 A・B

号室

	入院 (手術前日)	手術当日 入室前	帰室後	手術後1 病日	手術後2~5病日	手術後6~7病日 (退院)
	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
目標	手術の説明が理解でき手術に望むことができる		術後合併症がなく経過が良好である			退院後の生活や 過ごし方について 理解できる
説明・指導	・入院生活について説明します ・医師から手術について説明があります ・手術に必要な物品を確認します	・ご家族は手術前に来院し病棟で待機して頂きます ・病棟から離れる際は必ずお知らせください ・手術時間に変更がある場合は説明します	・医師からご家族へ手術内容について説明をします ・痛みがある場合や気分が悪い場合はナースコールでお知らせください			次回受診日までの日常生活の注意点を説明します
治療・処置	入院当日の午後に麻酔科の受診があります	静脈血栓予防のために弾性ストッキングを着用します	・医師の指示のもと、酸素吸入をします ・呼吸数、体温、脈拍、血圧を測定します	体温、脈拍、血圧を測定します 手術後7日目に退院診察があります		
検査	特にありません			 手術後1・4・7日に採血があります		
内服・点滴	・持参薬があれば一旦お預かりします ・夜眠れない時は、眠剤を飲むことができますので、看護師にお知らせください ・20時に下剤を2種類内服します	 手術室入室後から点滴を行います		・点滴終了後、針を抜きます ・必要時、鎮痛剤や緩下剤の内服薬があります		
食事	・手術前は消化の良い食事ができます (それ以外は食べないようお願いします) ・夕食後は何も食べられません ・OS-1という経口補水液を飲みます	説明した時間まで飲水はできますが 食事はできません	 飲水は説明があるまでお待ちください	・手術翌日の昼食から食事ができます ・退院後の食事は消化の良いものを摂取しましょう		
生活・行動	 特に制限はありません	・寝衣のまま、歩行または車椅子で手術室へ向かいます ・出発前にトイレを済ませてください		・手術室から病室へ戻ります ・ベッドで安静に過ごします ・寝返りはできます ・下肢の血流を良くする機械をつけます ・尿を出す管が入っています	・ベッドの横で立つことができれば、下肢の機械を外します ・トイレまで歩けたら尿の管を抜きます ・手術後の回復のために、できる範囲で歩きましょう ・初めて歩くときは看護師が付き添います	
清潔・その他	お膣の処置を行います その後入浴をしていただきます	 ショーツ以外の下着や金属類は 全てはずして頂きます	ナプキンの交換、 出血の確認をします ※手術中に除毛をする場合があります	・毎日タオルで身体を拭きます ・温かいタオルを看護師がお持ちします ・手術後3日目以降にシャワー浴ができます		

注) 病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。

年 月 日 医師名

注) 入院期間については、現時点で予想されるものです。 注) 原本患者保管・自署以外のサインは印が必要です。

担当以外の担当者

在宅復帰支援計画 無・有 ()

岩手医科大学附属病院

在宅復帰支援担当者

総合的な機能評価 無・有 ()

本人家族氏名

特別な栄養管理の必要性 無・有